
正直者の唄

N澤巧T郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

正直者の唄

【コード】

N3130A

【作者名】

N澤巧T郎

【あらすじ】

あるところに、正直者がいました。

ある所に正直者がいました。

ある日、誰かが彼に言いました。

「オレオレ、俺だけど」

彼は通帳を手に取った。

引き出し額200万。

彼はタクシーに乗っていた。

息を切らして彼はこう言った。

「速くしてください。僕が交通事故を起こしてしまったみたいです」

ある所に正直者がいました。

ある日、テレビで誰かが言いました。

「誰かお願いします。助けてください」

彼はパスポートを手に取った。

移動距離2万km。

彼は飛行機に乗っていた。

入国審査で彼はこう言った。

「観光ではありません。戦争をやめさせにきました。」

ある所に正直者がいました。

ある日、誰かが彼に言いました。

「おまえは鳥だ。空を飛べる」

彼は空高く飛び出した。

飛行時間約2秒。

彼は救急車で運ばれた。

目覚めて彼はこう言った。

「お礼を言わなきゃ。僕は空を飛べたんだから」

ある所に正直者がいました。

ある日、誰かが彼の近くでつぶやいた。

「ああ、死にてえ」

彼は凶器を手に取った。

刃渡り20cm。

彼はパトカーで運ばれた。

取調室の中で彼はこう言った。

「なんであの人は死にたくないって叫んだの？さっき死にたいと言ってたのに」

ある所に正直者がいました。

ある日、誰かが彼に言いました。

「死ねばいいのに」

彼はロープを手に取った。

全長2m。

彼は霊柩車で運ばれた。

あの世で彼はこう言った。

「お礼を言わなきゃ。親切に教えてくれたんだから」

そして世界は嘘つき者しかいなくなりました。

ある日、嘘つき者は嘘つき者に言いました。

「俺も嘘つき者で、おまえも嘘つき者だ」

この世は正直者しかいなくなりました。

(後書き)

正直者に言いたい。

「世界を平和で満たしてくれ」
たぶん叶えてくれるでしょう。
つてか戦争は止められたのか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3130a/>

正直者の唄

2011年1月21日03時12分発行